

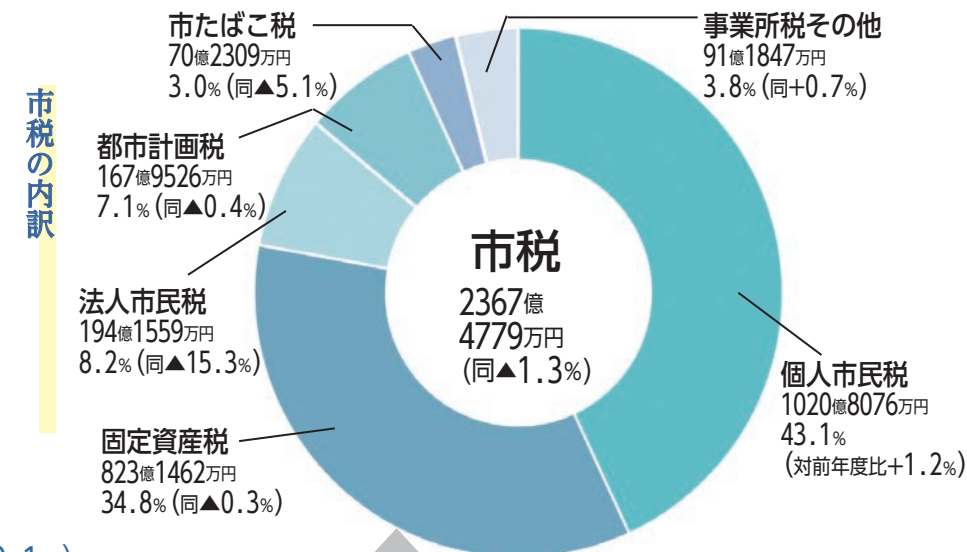
# 特集

# 令和2年度 決算報告

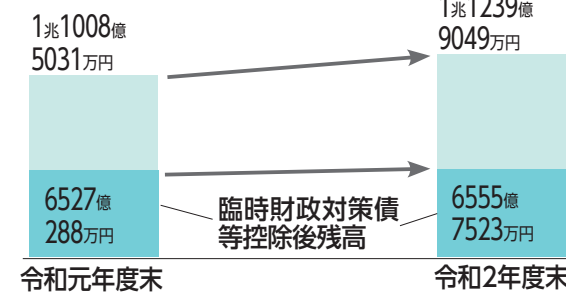
令和2年度の決算が10月の議会で認められました。皆さんの生活に関わりの深い事業を行う一般会計を中心に、主な取り組みなどを紹介します。 国財政課 ☎504-2075、☎504-2099

## ① 一般会計

福祉や教育、消防など市が行う行政運営の基本的な経費を経理する会計です。(特別会計・企業会計を除く全ての歳入・歳出)



借入金(市債)の現在高



市債の残高は、臨時財政対策債(国が地方交付税の不足を補うために発行させる市債)の発行などにより、約1兆1240億円となりました。臨時財政対策債などを除く残高は、対前年度で、約29億円増加しています。しかし、新型コロナウイルス感染症に伴う徴収猶予の影響によって減収した市税などの財源手当てとして発行した猶予特例債(約32億円)を除けば、前年度を下回る残高となっています。

収入 7860億6239万円 (対前年度比+20.1%)

項目	割合	金額	変動
国庫支出金	34.9%	2741億4464万円	(対前年度比+106.3%)
市税	30.1%	2367億4779万円	(同▲1.3%)
借入金(市債)	10.3%	810億8255万円	(同+2.2%)
地方交付税	5.9%	465億7460万円	(同+0.9%)
貸付金の元利収入など	4.6%	358億1255万円	(同▲3.6%)
その他	14.2%	1117億26万円	(同▲6.5%)

※これまでの税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(137億2737万円)は、生活保護費などの扶助費に介護保険事業などの特別会計への繰出金などを加えた社会保障費(一般財源778億4658万円)へ充当しています

支出 7809億8068万円 (対前年度比+20.0%)

項目	割合	金額	変動
福祉サービスの提供 など	27.0%	2108億322万円	(対前年度比+2.9%)
市民参加や平和の推進 など	21.5%	1676億4447万円	(同+276.5%)
教育の充実	12.8%	995億6466万円	(同+6.9%)
道路・市街地の整備、交通 など	12.6%	982億601万円	(同+4.3%)
保健・医療や環境対策 など	8.9%	698億1142万円	(同+6.8%)
借入金(市債)の返済 など	8.2%	639億8154万円	(同▲21.7%)
その他	2.8%	219億1007万円	(同+11.5%)



## ② 特別会計

保険料など特定の収入を財源に特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計です。市には国民健康保険や介護保険など19の特別会計があります。

収入 4219億3871万円 (対前年度比+0.6%)

支出 4176億9606万円 (同+0.3%)

特別会計	収入	支出	特別会計	収入	支出
住宅資金貸付	853万円	304万円	競輪事業	211億5078万円	196億7003万円
母子父子寡婦福祉資金貸付	10億130万円	2億8183万円	中央卸売市場事業	29億3847万円	28億8318万円
物品調達	5345万円	4588万円	国民宿舎湯来ロッジ等	9012万円	9012万円
公債管理	1536億8230万円	1536億8230万円	駐車場事業	6億9951万円	6億9951万円
広島市民球場	13億279万円	13億279万円	開発事業	12億4576万円	12億4576万円
用地先行取得	4億4422万円	4億4422万円	市立病院機構資金貸付	172億6497万円	172億6497万円
西風新都	12億1023万円	12億1023万円	元宇品町財産区	3325万円	548万円
後期高齢者医療事業	155億9217万円	155億567万円	三入財産区	655万円	31万円
介護保険事業	978億623万円	970億6265万円	砂谷財産区	1122万円	21万円
国民健康保険事業	1073億9686万円	1062億9788万円			

## ③ 企業会計

サービスの提供に対して皆さんが支払う料金などを収入として事業を行う会計です。水道・下水道・安芸市民病院の3つの企業会計があります。



事業会計	収入	支出
水道事業会計	227億8837万円 (対前年度比▲6.3%)	224億9857万円 (同▲0.8%)
下水道事業会計	428億4811万円 (対前年度比▲2.6%)	416億4951万円 (同▲2.3%)
安芸市民病院事業会計	20億6572万円 (対前年度比▲2.3%)	20億6357万円 (同▲2.5%)

令和2年度の収入-支出 50億8171万円

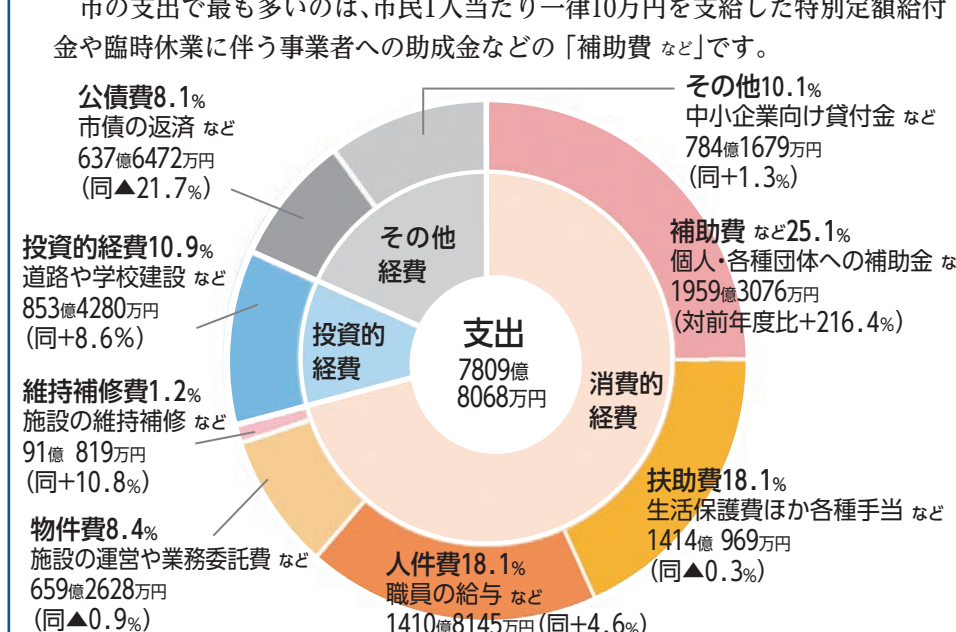
収入から支出を差し引いた50億8171万円から、令和3年度に繰り越して行う事業に充てる32億1774万円を差し引いた18億6397万円が、実質的な黒字となりました。

## 市民1人当たりになると年間約65万4862円支出

収入		支出	
項目	決算額	項目	決算額
国庫支出金	22万9874円	福祉サービスの提供 など	17万6761円
市税	19万8516円	市民参加や平和の推進 など	14万572円
借入金(市債)	6万7989円	教育の充実	8万3486円
地方交付税	3万9053円	道路・市街地の整備、交通 など	8万2347円
貸付金の元利収入 など	3万29円	保健・医療や環境対策 など	5万8538円
その他	9万3662円	借入金(市債)の返済 など	5万3649円
<b>合計</b>	<b>65万9123円</b>	地域経済の振興、観光 など	2万1278円
		消防活動 など	1万3748円
		災害復旧	4812円
		議会の運営	1299円
		その他	1万8372円
		<b>合計</b>	<b>65万4862円</b>

一般会計の決算額を、市の人口119万2589人(令和3年3月末)で割って計算しました。1円未満は端数処理をしています。

## 性質別に見た広島市の支出



## 広島市のバランスシート(連結※)

バランスシート(貸借対照表)は、これまで造ってきた道路や建物などの財産(資産)と、その財源(負債など)の状況を示すものです。資産から負債の合計を差し引いたものが純資産です。2年度末では、市民1人当たりすると資産約267万円、負債約193万円、純資産約74万円です。(連結※ 一般会計・特別会計・企業会計のほか、市が出資している第三セクターなどを加えたものです)

資産	負債
有形固定資産 2兆8699億円	固定負債 2兆217億円
無形固定資産 548億円	流動負債 2兆3033億円
3兆1805億円	純資産 8772億円

## 公共施設(ハコモノ資産)の収支状況と税負担

文化・スポーツ・福祉などのサービスを提供する施設(ハコモノ資産)の管理運営費の多くは市税で賄われています。今回は運動公園などの施設について収支状況と税負担額を紹介します。

公共施設	A 支出(管理運営費)	B 収入(使用料など)	C (A-B) 税負担額	D 利用者1人当たりの税負担額
瀬野川公園	6647万円	1326万円	5321万円	1046円
可部運動公園	2895万円	345万円	2550万円	936円
佐伯運動公園	3895万円	648万円	3247万円	709円
新牛田公園、牛田総合公園	3795万円	58万円	3737万円	639円
寺迫公園	1546万円	424万円	1122万円	437円
竜王公園	3291万円	667万円	2624万円	411円
草津公園	577万円	94万円	483万円	313円
西部埋立第五公園	4058万円	2212万円	1846万円	149円

管理運営費(A)には、建物の新築費用や大規模改修の費用とそれらに伴う市債の償還費用は含まれていません。利用者1人当たりの税負担額(D)は、税負担額(C)を延べ利用者数で割って計算しました。1円未満は端数処理をしています。

国行政経営課 ☎504-2346、☎504-2372